

令和元年度執行事務事業

施策名	基本事業	番号	事務事業名
市政情報の共有と 広聴活動の充実	ICT活用能力の向上とオープンデータ	1	市民への情報化支援事業

事務事業名		市民への情報化支援事業				評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	7 市民参加による自立したまちづくり				担当組織	担当部	行政経営部	担当課	情報政策課
	政策	2 多彩な交流と情報共有によりまちづくり				担当係	ICT推進係	担当課長名	久保 一宏	
	施策	2 市政情報の共有と広聴活動の充実				新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	3 ICT活用能力の向上とオープンデータの活用				実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名				
	事業区分		任意の事業・義務の事業		市単独事業・国県補助事業		市単独事業			
	実施方法		直営							
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	H26年度～	年度	根拠法令 条例等	事業分類		講座・教室・イベント等開催事業		
	リーディングプロジェクト		該当なし							
	市長市政公約		該当なし							

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)

事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)		令和元年度実績(令和元年度に行った主な活動内容)					
市民の情報リテラシー能力向上のために、タブレット端末操作などの研修会を実施する。		・町会長連合会の会員に対して、タブレット操作講習会を11月11日に予定していたが、台風19号の影響で中止になった。 ・佐野商工会議所の会員を対象に、タブレット操作及び活用法講習会を3月9日に予定していたが、新型コロナウイルスの影響で中止になった。					
活動指標		単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)
研修会の開催回数		回	3	3	0	3	3
研修会の参加人数		人	41	28	0	30	30

② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)

市民	対象指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)
	人口	人	120,018	119,348	118,450	117,706	

③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)

目的	市政情報の入手や市政への意見の反映など、双方向の情報伝達手段として、タブレットを活用してもらうために、操作法を理解してもらう。	成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(目標)	R3年度(目標)
		講習会が参考になった人/研修会の参加者	%	68.3	64.0	-	70.0	70.0

④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)

情報の共有のためにICT技術が活用できる。	上位成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(目標)	R3年度(目標)
	インターネットを利用している市民の割合	%	75.6	75.1	76.1	75.0	75.0

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	H29年度(実績)		H30年度(実績)		R1年度(実績)		R2年度(目標)		R3年度(目標)	
	国庫支出金	千円										
	県支出金	千円										
	地方債	千円										
	その他	千円										
	一般財源	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	事業費計(A)	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
人件費	人	2	2	2	2	2	2	2	2	2		
のべ業務時間	時間	200	200	200	200	200	200	200	200	200		
人件費計(B)	千円	763	764	763	763	763	763	763	763	763		
トータルコスト(A)+(B)	千円	763	764	763	764	763	763	763	763	763		

事務事業名	市民への情報化支援事業	担当部	行政経営部	担当課	情報政策課	担当係	ICT推進係
-------	-------------	-----	-------	-----	-------	-----	--------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	高度情報化社会において、市民の情報格差が行政サービスを提供するうえで、公平性の阻害要因となっている。ICTをより身近なインフラとして定着させ、誰もが便利で安心して利用できる情報格差を生まない環境づくりを進めなければならない。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	インターネットを利用した電子商取引などが進み、特にスマートフォンを活用した情報伝達がさらに進むものと考えられる。また、詐欺などのネット犯罪なども増加すると思われ、安全に安心して使える環境整備が必要になってくる。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	特になし。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	現状維持により対象外

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	市民が、安心安全にICTを活用した生活を送るために、情報格差を生まない環境をつくる事業であり、「市政情報の共有」に貢献するものである。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	市政情報の伝達手段として利用するため、市が行わなければならない。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	市民への市政情報伝達の即時性、手段の多様化、意見の収集など、ICTを活用した方法が今後ますます必要になる。情報格差が市民生活へ影響を及ぼすため、早期に市民の情報格差を是正しなければならないので、対象と意図は妥当である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がない	理由・改善案	ICTの活用があまりされていない市民に対し、講習を通じてICTに対する意識を変え、利用促進へつなげるには、講習会を通じて情報リテラシーを身につけることが近道であり、成果向上の余地はない。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	類似事務事業名
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	講習会を開催するために必要な人件費であり、削減余地はない。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	受益者負担を求めない	理由・改善案	行政からの情報伝達手段として普及させるため、受益者負担を求めるべきではない。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)			
	市民がICTの恩恵を享受できる情報リテラシーが身につく、情報格差が是正されれば終了できる。			

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																							
現状維持(従来通り実施)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。																								
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○	×																					
	低下		×	×																					